

Key Person interview 49

前名古屋市長

河村たかし

Takashi
Kawamura

[名古屋から始まる減税革命]

市民税を
安くするでよ
「住んでちょー
名古屋！」

名古屋が熱い。来る2月6日は名古屋市長選、愛知県知事選、名古屋市議会解散の是非を問う住民投票のトリプル投票。その台風の目が河村たかし前市長だ。市民税減税を掲げ、議会と決裂し、市民から集まった議会リコール署名は46万人分。名古屋は減税革命を起こせるか。

何のために議会はあるのか。何のために議員はいるのか。それを「減税のため」と言い切る河村たかし、前名古屋市長。2009年の就任当時から何かと話題になった名古屋市長は今、2月6日の市長選と議会解散を決める住民投票で、市民の審判を待つ身である。

市長の報酬800万。

市議会議員の報酬1630万

名古屋市長になる前は、総理大臣になる男と名乗り、それを「今も実は諦めておらん」という河村の、現在のキャッチフレーズは「気さくな62歳」。インタビュウ中、取材陣に「あんたらも雑誌作りながら議員になればええが」と、気さくに勧めてくれた。

河村は名古屋市長就任後、市長給与約2700万円を自ら800万円に減額。4年後の任期満了にともなう退職金4220万円の受け取り辞退も表明した。さらには市議会議員の報酬を1630万円から800万円にする半額案を出して、議会が猛反発。この案件は、実に計5回も否決された。

最大の目玉公約だった市民税の10%減税は2010年度に実現させた。日本で初めて市民税減税を実施した都市として、名古屋は歴史に名を残すことになる。

だが昨年、その「市民税10%減税」を恒久化する条例は否決された。妥協は無用と、議会解散を目指し、河村の支持団体が中心に集

行革して減税じゃなくて、 減税するから行革するの。 順序が逆だぎや



◀河村たかしの主張が名古屋弁で書かれた「名古屋から革命を起す!」(飛鳥新社)と、議員報酬・手当の無駄について訴えた『この国は議員にいくら使うのか』(角川SSC新書)。



Key Person interview

1948年愛知県名古屋市出身。中日ドラゴンズを愛する生粋の名古屋人。一橋大学商学部卒業後、家業の古紙業に従事。1983年愛知県議員選に出馬するも落選。1993年衆院議員当選。議員歳費と議員年金の無駄を追及し、自身は受け取らないと表明した。2009年、市民税減税を掲げて名古屋市長に就任。「減税日本」の代表でもある。

めたりコールの署名は約46万人以上。リコールには十分なはずが、選挙管理委員会によるチェックで多くの署名が無効にされた。

「署名の大虐殺やがな」

結局、無効とされた署名が有効に転じリコールは成立したが、すでに辞職を表明していた河村は「出直し選挙だ」と、2月6日の知事選を市長選とのダブル選挙に持ちこんだ。知事選候補の大村秀章と組んで、市民税と県民税のダブル減税を実現するのが目的だ。

減税するってどこに財源があるんだ! 任期中中で職務放棄だ! 等々、河村前市長の政策と手腕をめぐって名古屋は騒がしい。最近地方議会と自治体の長が対立するケースが、大阪府の橋下徹知事や鹿児島県阿久根市の竹原信一前市長をはじめ目立っている。理由はそれぞれ違っても、通底に流れているのは、地政のあり方を見直そうとする機運だろう。

2%の節約ができない
スーパーはない

名古屋市の古来の河村事務所。黄ばんだふすまが昭和を感じさせる一室で、減税の真意を聞いた。

「例えば雑誌だって、よりよい情報をより安く作ろうと努力するでしょ? よりよいものをより安く売るのは当たり前だぎや。何で誰も、よりよい公共サービスをより安くと言わんのかと」

名古屋弁で、ごく身近な例を引

きながら、話は始まった。

「水道料金がわかりやすいがや。」

水道料金は公共料金、一種の税金

だわね。ある町の世帯数が2倍に

なったとする。すると水道料金は

2倍入る。じゃあ水道管も2倍い

るかいうたらいらん。水道局の職

員も2倍いらん。なら水道料金、

余るじゃないですか。下げられる

じゃないですか。何で下がらんの

? 何で公共サービスはコストダ

ウンしないのかって話ですよ。そ

れどころか市は財政危機だと逆の

ことを言っとる。何でか? 政治

はウソがこけるから。独占市場だ

から。『タイム』には競争相手が

いるでしょ? ウソ書いたらつぶ

れるでしょ? 独占で税金使って

やつてると、必ずウソがまかり通

るようになります」

河村にとって、「減税なくして

行革なし」「減税なくして議員な

し」。昨年、名古屋に「減税日本」

を立ち上げ、代表になった。住民

投票で議会解散になった場合、市

議会選挙には40人ほどの候補を立

て、議会の主流派を狙うという。

「いろんな方が税金の無駄遣いを

なくせと言っただね。でも、減税し

なければ無駄遣いはなくならない

んです。スーパーに行つて、店長

に向かって『無駄遣いやめなさい』

と言う人いますか? そんなこと

言うたら店長にダイコンで頭殴ら

れますよ。競争相手があるから1

円でも安くしようとしているのに、

無駄遣いどころじゃないって言わ



◀インタビューは河村事務所の奥の部屋で行なわれた。事務所はとても古めかしくふすまに穴、鴨居も壊れかけていた。「ワシの給料は800万円だから、無駄遣いはできんがな」

国会議員の歳費と名古屋市議会議員の報酬

	定数	報酬	経費等
国会議員	衆議院 480人	約2200万	・文書通信交通滞在費 1200万 ・秘書の給与 2600万
	参議院 242人		
名古屋市議会議員	75人	約1630万	・政務調査費600万円

文書通信交通滞在費、政務調査費がいわゆる経費として支払われているもの。

れますよ。行政も同じことで、税金の無駄遣いなくせと言っているのは、そもそもおかしいんです」

否決された2011年度の市民税減税の総額は226億円と試算されていた。名古屋市の一般会計予算約1兆6千億円の約2%にあたる。名古屋の人口がだいたい226万人だから、一人当たり約1万円の減税になるはずだった。

「2%の節約ができないスーパーがありますか？ スーパーの店長なら何言ってるんだよ、20%の間違いないじゃないかって言いますよ。商売は値下げしなきゃいけないから無駄遣いがなくなる。行政も同じ。ブライスクラップ（価格の上限）をかぶせて初めて無駄遣いがない

なる。税金の無駄遣いをなくしてから減税じゃないんです。減税するから無駄遣いなくなるんです。順序が逆だぞ」

行政改革しますと言う人は多いけど、そんなもん、減税した結果ついてくるんで。行革は減税の手段にすぎん。スーパーの店長から『ウチ今、会社改革しています』と言われたって、客はアホかいと思うでしょ。そんなこと言ってる暇があったら値下げしろって」

もともと商売をしていたせいか、たと言はスーパが多い。

議員はボランティアでやるべき。職業にするな

河村たかしは衆院議員時代から議員報酬にメスを入れてきた。議員歳費のカット、手当返上を訴え、「議員仲間からものすごい冷たい目で見られていた」という。

「市長になってワシの給料は800万にすると言ったら、議会は全会一致で賛成ですよ。だったら自分たち（市議会議員）もそうすればいいのに誰もやらんですよ」

国会議員と名古屋市議会議員の年間歳費・報酬と経費等は、上の表のとおり。確かにいい値だ。

日本には戦後、国会議員は「一般職の国家公務員の最高の給与額より少ない歳費を受ける」と定めた国会法第35条ができた。「日本が無謀な戦争を始めたのは議会の力が弱かったからだ」と見たGHQが作ったのである。戦前まで、

議員は名譽職の性格が強く、報酬はこんなに高くなかった。

「GHQは良心で作ったんでしょけど、とんでもない法律ですよ。日本がある程度復興したところで昔の形に戻せばよかったんだけど、こんなおいしい法律、変えるわけがない。日本だけです、こんなに議員に税金を払っているのは」

これで議員が立派な稼業になったわけだが、それがおかしいと河村は言う。議員たるもの、任期制のボランティアであるべきというのが河村の持論である。

「長期政権の王様が何で悪政に傾くかという、自分の息子を王様にしようとするからでしょ。権力の長期化、職業化は必ず腐敗を招きます。世襲がいかにとんでもないか。代々、税金で食べてるんですから。だから議員はボランティアでやるべきなんです。4年間やつたら辞めるんです。議員とか市長とかを職業にしたり、生涯設計に入れちゃいかんのですよ。」

世界ではボランティア議員が主流になってきています。稼ぎ口はほかにあつて議員で食ってるんじゃない。カリフォルニア州のシュワルツェネッガーはタダで知事をやるとつたらしいですよ。まあ、彼は金持ちですけど。みんなタダでやれとは言わんけど、ボランティアだから市民並み給料で十分だわね」

しかし、ボランティア型にするのと金持ちしか議員にならないのでは、ないかという疑問がわく。

「成り手はいますよ。現に、ワシの『減税日本』にはボランティア型の議員が集まってきてます。会社員も会社に勤めながら議員になればいいかな。兼業できる風土を作っていいかな。議員になっても会社をクビにしてはいかんという決まりをつくって」

兼業のボランティア議員では何かと素人くさくて、議会の質が下がるのではないかとという声もある。「それが真逆なの。議員報酬のカットに反対する人たちは、プロの議員でない行政チェックが甘くなるか言うけど、全く逆です。職業化した議員は裏で手を握ればすぐイエスという。そこがプロなの。逆に、ボランティアで議員になろうと思う人は何か専門職を持った人が多い。長くやるつもりもないから癒着も起きない。そういう人たちが集まったほうがよほど専門性の高い、強い議会になるがや。政治の知識を持つてる人は役所に行けばええが」

名古屋から「ユナイテッド・ステイツ・オブ・ナゴヤ」へ

河村前市長の政策で、話題を呼んだもうひとつが「中京都構想」なるものである。

「今、世界で元気がいいのは国というより都市でしょ。上海とかシンガポールとかロンドンとか。名古屋も独立国家と同じぐらいの強い地域になろうという話なの。中京国でも名古屋国でもいいんだけ

シユワちゃんは、タダで知事してたらしいで



→事務員と打ち合わせ中。2月6日の住民投票で議会解散が決まれば、市議会選には自らが代表の「減税日本」から多数の候補を立てる予定だ。

Key Person interview

ど、税制も自分で決めてね。そういった場合に、知事と市長がバラバラにやるとるとあかんのですわ。例えばば法人税1割減税をやつて、商売やつてつちよーと産業を呼ぶ。でも本社は名古屋でいいけど、工場作るには名古屋は土地が高すぎますわ。愛知県全体でやらないといかん。だから県と市の経営会議をひとつにすればいい。ほかの市町村も参加して。今はそういう協同体制、全くない」

経営会議を一本化して強い産業都市を目指す。河村の政策はどこまでも商売が基本だ。

「それに保証協会とか、同じような組織が県と市と2つあるのも無駄ですわ。重複しているものを削れば、減税の財源が出てくる」

河村前市長とタッグを組む知事選候補の大村秀章は、県民税10%を公約に掲げている。

「名古屋市と愛知県で減税革命に成功したら、こりゃ影響が大きいかな。こんな地域はほかにないんですから。東京にも『住んでちょー名古屋!』のポスター貼つて、産業も呼びます。税金安いよーと。これは強いですよ。そうなったら、ほかの都市も減税しようとかんばる。日本中が競争になるがや」

そうならば必然的に行政改革が進むというのが、河村の見立てだ。県と市の経営会議の先に目指しているのは、名古屋市を学校区程度の広さの自治体の集合体にしようという構想。名づけて「ユナイ

テッド・ステイツ・オブ・ナゴヤ」。「地元のこととはなるべく地元で決めたまええが。中学校の学区単位ぐらいの自治体にして、選挙もやつて、地域委員会を作つて。でも議員は反対するの。自分の足元でそんな民主主義的なことをしてくるなと(笑)。

昨年、シドニー近郊の市議会を見学に行ったの。サンクラスけたおばちゃんやおじちゃんが集会所に集まって、海岸にアイスクリーム売りのクルマが入ってくるのを禁止すべきかどうかを議論してました。土日や平日の夜に集まって、みんなで決まようとする。そのプロセスに価値があるんですわ」

税金の使い道を納税者が決める。この当たり前のことが、日本ではあまり当たり前ではない。

河村自身、衆院議員時代まで家業の古紙業と兼業していた。

「32年間やつてたから、フォークリフトの名人と言われとるだがや。古紙屋の競争はすさまじいですよ。スーパーに段ボールが出るでしょ。ウチがキロ10円で買つと、他社が11円で買つていく。そういう厳しいのを何十年も見てきたからね。市民税減税したいゆうのは一種のリベンジかな、納税者としての」

気さくな62歳のリベンジは成るか。その初戦は2月6日のトリプル投票。日本に減税革命の流れは来るのか。名古屋市民以外にも注目だ。

闘う行政請負人
世直し対談

Key
Person
Interview
Special

「消費増税」「大飯原発再稼働」「公務員改革」について吠える!!
**国を変えるには、
国民が動くことが重要です**

なぜ政府は原発再稼働を急ぐのか？ 被災地の瓦礫受け入れは本当にエライのか？ 増税は「やむなし」なのか？ ホントの理由を知りたい。叩かれても恫喝されてもブレない、このふたりに聞きました。



◎大阪府市統合本部 特別顧問

古賀茂明

◎名古屋市長

河村たかし



東電は自分たちは
被害者だと思っている

——福井県の大飯原発再稼働をめぐって「なぜそんなに急ぐのか」と疑問の声が噴出。古賀茂明氏がメンバーをつとめる大阪府市エネルギー戦略会議は、事実上再稼働を認めない「原発再稼働八条件」を政府に提言している。

古賀 大飯原発に視察に行きましたが、あれを見たら誰だって不安になりますよ。電源喪失時の最後の切り札という電源車が、崖の下に並んでいるんだから。

河村 名古屋は中部電力だけど、福井にも視察に行きまして、「放射性物質ハザードマップ」を出してくれとお願ひしました。原子力安全・保安院は「出します」と言うたけど、まだ出てない。なのに「再稼働します」ってナメとりやせんかと。

——脱原発を目指し、発送電分離を進めるべきだという点について、ふたりは一致している。河村市長は昨年、「名古屋発電株式会社」をつくりたいと発言していた。

河村 中電ひとつだとセカンドオピニオンがなくてイカン。需給予測だって嘘か本当かわからない。

古賀 発送電分離については、政府はものすごく時間をかけた計画を立てると思います。時間をかけている間に選挙があつたり政権交代があつたりで、またイチから見直しとなる。結局何年かかっても進まないというシナリオ。

取材・文／佐藤恵菜 撮影／松美里枝子

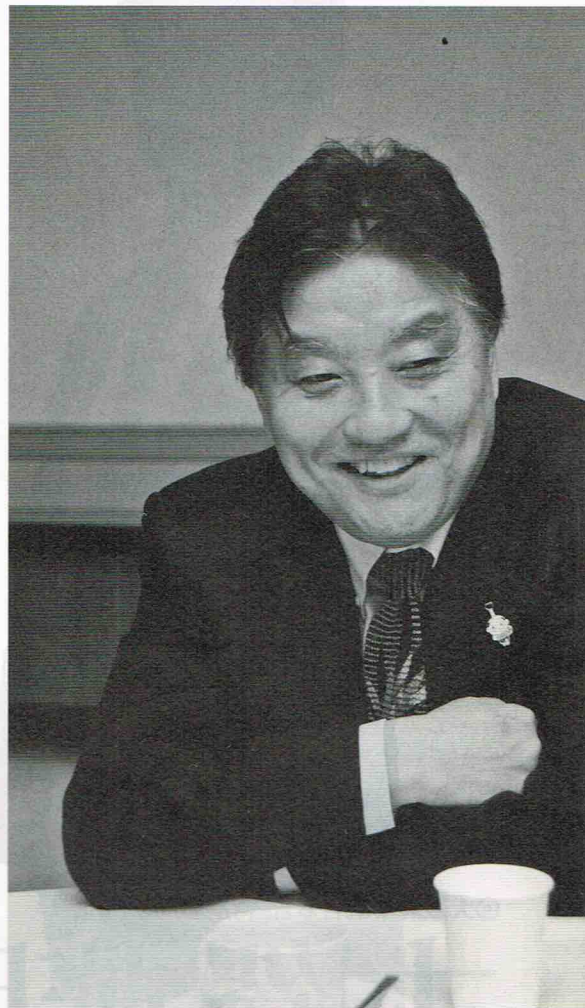
河村 ウチも発電会社をつくるとい
いても役所の動きは鈍い。担当
者を決めるだけで半年かかった。

古賀 枝野さんは「東電を国有化
して発電分離を進める」と正義
の味方みたいな顔して言っている
けど、あんな矛盾した話はないで
すよ。国営にしないと発電分離
できないのかと。国有化しなくて
も、法律を変えれば分離できます。

河村 関電も中電も、東電はもう
国有化でいいから、早く再稼働さ
せろと思ってるんじゃないかな。

古賀 他の電力会社は内々で言っ
てますよ、「東電は政府が好きに
していい。だけど我々は別です、
だってボクたちは事故を起こして
ないもんね」と。電力会社は責任
も危機感も感じてない。東電です
ら責任を感じてないんだから。

河村 それに自分たちは被害者だ
という意識があるでしょ。悪いの
は経産省だ。オレたちは国が言
うとおりにやってきたでねえかと。
古賀 原子力損害賠償法の条文中、
異常に巨大な天災地変の場合は免
責にするという内容が入っていま
す。福島事故が起きた時、東電
は「当然、免責だ」と思った。と
ころが経産省は免責を言い出され



かわむら・たかし 1948年愛知県生まれ。一橋大学
商学部卒業後、家業の古紙回収業に就く。1993年、
衆議院議員に。2009年、「市民減税10%」を公約に
名古屋市長に当選。就任後、2700万円の市長報酬を8
00万円に減額。地域政党「減税日本」の代表でもある。

●住んでいる人が町づくり。名古屋「地域委員会」の仕組み

設置単位	小学校区、中学校区または 同一区内の複数学区に1つの委員会
委員の定数	設置地域の人口に応じて、7~11人
委員の報酬	無報酬(定額の費用弁償を支給)
選出方法	18歳以上の住民投票及び地域団体からの推薦
予算額	設置地域の人口に応じて、200万~400万円

「地域のことは自分たちでやるのが一番」「真の民主
主義への第一歩」という考えから河村市長が公約として
きたのが「地域委員会」の設置。委員会が決めた予算
の使い道案は、名古屋市議会でも審議され、認められ
ば予算成立。今年は32地域を上限にモデル地域を募集。
今後、制度の本格的な導入を目指している。

と、自分たちが責任とらなくち
やいけなくなるから、東電に「免
責のことは言わないでくれ。その
代わり絶対、会社は守るから」と
頼み込んでいたという話を聞きま
した。官邸では菅前首相が東電を
叩いていたけれど、裏ではずっと
そんな駆け引きをしていたのかと
驚きました。

理したほうがええに決まってる。
古賀 私もそう思います。それが
日本中、瓦礫を受け入れた自治体
はエライみたいなムードになって。
河村 絆族だな。名古屋は岩手
県に職員を送って、焼却炉の組み
立てとオペレーションをやってます。
古賀 メディアも取材不足。霞が
関で厚労省や内閣府の話ばかり聞
いているから、被災地では瓦礫が
処理できないと思ってる。最初
は瓦礫の量がどれくらいにな
るか見当もつかないから、「ウチ
で処理できません」と言っただけ
で、全休量が見えてくると、「こ
れくらいなら補助金を出してもら
えば、ウチで処理できる」と思っ
ている自治体も多いんですよ。
河村 そう言えばええのにな。

古賀 役人は一度言ったことを、
変えるのが大嫌いですから。普通
なら「見通しが違っていましたが、
すみません」ですよ。役人はそ
の「すみません」が言えない。過
去やったことも言ったこともすべ
て正しかった、と言うのです。そ
うしないと責任を問われるから。
——誰でも責任を問われるのはイ
ヤなもの。しかしこういう時のた
めに公務員は身分保障されている
のではないのだろうか？

古賀 政治的中立や公平性を保つ
ために公務員は身分保障されてい
る。それなのに責任は取らない、
すみませんも言えないんじゃない
ための身分保障なの？ って話。
ただ保身のために使われている。
河村 意見を変えると上司のメン
ツにキズがつくとか。大臣の顔に
泥塗っちゃうとかか。

古賀 怒られるとか(笑)。この

官僚に洗脳されるような議員は、



政治家育成を目的とした「河村
たかし政治塾」が4月に開講。
サラリーマンや大学生ら約200
名が参加した第1回の講師が古
賀茂明氏だった。上は塾のテキ
ストでもある河村氏の近著『復
興増税の罠』(小学館101新書)。

何のために議員になったのだろう？

前「できない」って上司に言っちゃった、もう大臣まで話が行っちゃった、今さら「できる」なんて言ったら怒られるからやめとこう。これが普通の役人の発想です。

官僚に洗脳される議員

官僚にネグレクトされる大臣

消費増税は財務省主導で進められていて聞く。民主党政権は政治主導を目指すといながら、なぜ改められないのだろうか？

古賀 与党議員になると官僚がたたくさんきて、ていねいに何でもレクチャーしてくれます。役所に都合のいい説明を。自民党の議員なんて、ずっと与党だったから1年目からずーっと財務省の「増税理論」を聞かされて、洗脳されちゃう。増税はいいことだと。

河村 洗脳されちゃう議員は、何がやりたいって議員になったのかと思いますね。ただ偉くなりたかっただけかい？ っ。本当にやりたいことがないから、官僚の言うがままになってブレまくる。

古賀 民主党も何のために政権交代したんでしょうね。増税しない公約で政権を取ったのに、今、野田政権は増税に命を賭けている。

大臣や首相になる人は、十分に優秀なはず。使命感もあるはず。それでも洗脳されてしまうのが、不思議でならないのだが。

古賀 例えば大臣の国会答弁のために、何百何千という役人が徹夜して資料を作る。オレひとりのために徹夜してがんばってくれているのかと、だんだん情が移っていくんです。これは笑えない事実。

河村 でも、ヘンなこと書いてある資料は突き返すんでしょ？

古賀 突き返された役人は引き返します。大臣は当然、直ってくると思ってる。ところが、しばらくすると、さっきの役人が似たような内容で持ってくる。直ってないじゃないかと、また突き返す。でもまたしばらくすると、また同じようなものを出してくる。最後には「大臣、時間ないですけど」。

河村 ネグレクトですね。役人が税金から給料もらって、仕事をサボる。

ポタージュする。長妻（元厚労相）はそれでひどい目に遭った。

マンシヨンの管理組合のよつに町の管理は住民で

——すっかり影を潜めた民主党政権の公務員改革。今も改革の急先鋒である古賀氏は、その打開策として「Jリーグ方式」を提案する。

官僚の仕事ぶりを点数づけし、下位10%を強制的に降格させるといふものだ。空いたポストに新しい人材を登用することができる。

河村 Jリーグ方式は参考になります。しかし、これをやるには専門の人事チームが必要ですね。古賀 人事チームは外部の人で構成するんです。公務員の待遇を公務員が決めたんじゃない意味がないの

で。今の人事院がそうだけど。大阪市役所の幹部昇進は、外部と内部の人で面接して決めていきます。

河村 大阪市は維新の会が過半数取っているからいいけど、名古屋は減税日本が過半数を取ってないから大変だがや。

古賀 大阪も大変ですよ。議会が役所と手を組むこともあります。

河村 本来、議員は市長よりエライですよ、市民の代表ですから。だから議会に大きな権利を与えている。市長の独裁を許さないために。私もそれでいいと思う。ところが日本では議員が家業化して利権になっているから問題なんです。民主主義の仮面を被った王様になっているんですよ。

——古賀氏が河村市長の仕事の中で一番注目しているというのが、名古屋市の「地域委員会」だ（62ページ右下参照。町内会と違うの

は、委員が選挙によって選ばれ、市の予算がつくことだ。

河村 手前味噌ですが、個人・法人市民税の5%恒久減税と選挙による地域委員会を実現したのは、日本中で名古屋市だけです。

古賀 身近な行政は住民がやるのが一番ですよ。私も近所の道路を何度も掘り返しているとか、公園の植木を何度もやり直しているのを見てイライラします。業者と癒着してるんだらうなあって。こんな細かいことは市長や区長はわからない。住民しかわからない。

河村 例えば児童虐待のニュースがあるでしょ。民生委員さんが一生懸命やってくれているけど、限界があるんです。本当にオープンな住民自治をつくらないと、子供の悲鳴にまでは、なかなか手は届かないのです。

古賀 マンシヨンの管理組合と同



こが・しげあき 1955年長崎県生まれ。東京大学法学部卒業後、通商産業省（現・経済産業省）に入省。2008年、国家公務員制度改革推進本部事務局審議官として画期的な改革案を提議したが、猛烈な反発を受ける。2011年退職。メディアで公務員改革を訴え続ける。



大阪府と市で今年1月から始まった会議。古賀氏も委員で毎週参加。今夏を乗り切るための施策などを関係者も含めて協議している。4月には「原発から100キロ圏の住民同意」「使用済み核燃料の最終処理体制の確立」を含む「原発再稼働八条件」を政府に提出した。

●原発に頼らないエネルギー供給を考える
大阪府市エネルギー戦略会議

じですね。予算はこれだけですがその壁を直しますか、もう一年我慢しますか？ お金足りないのもうちよつと出しますか？とか。これを町ぐるみでできれば、本物の民主主義に近づきます。

河村 そこに市民税で減税した分を寄付してもらえようになれば、いよいよ本物の民主主義です。

古賀 地域委員のような草の根的な立場の人が、市議員になればもつといいですね。住民は地域委員会がボランティアでやったことを見ているから、ボランティアでも十分できるとわかる。すると、じゃあ何で市議員たちはあんなに高い給料もらっているの？ と疑問を持つようになります。

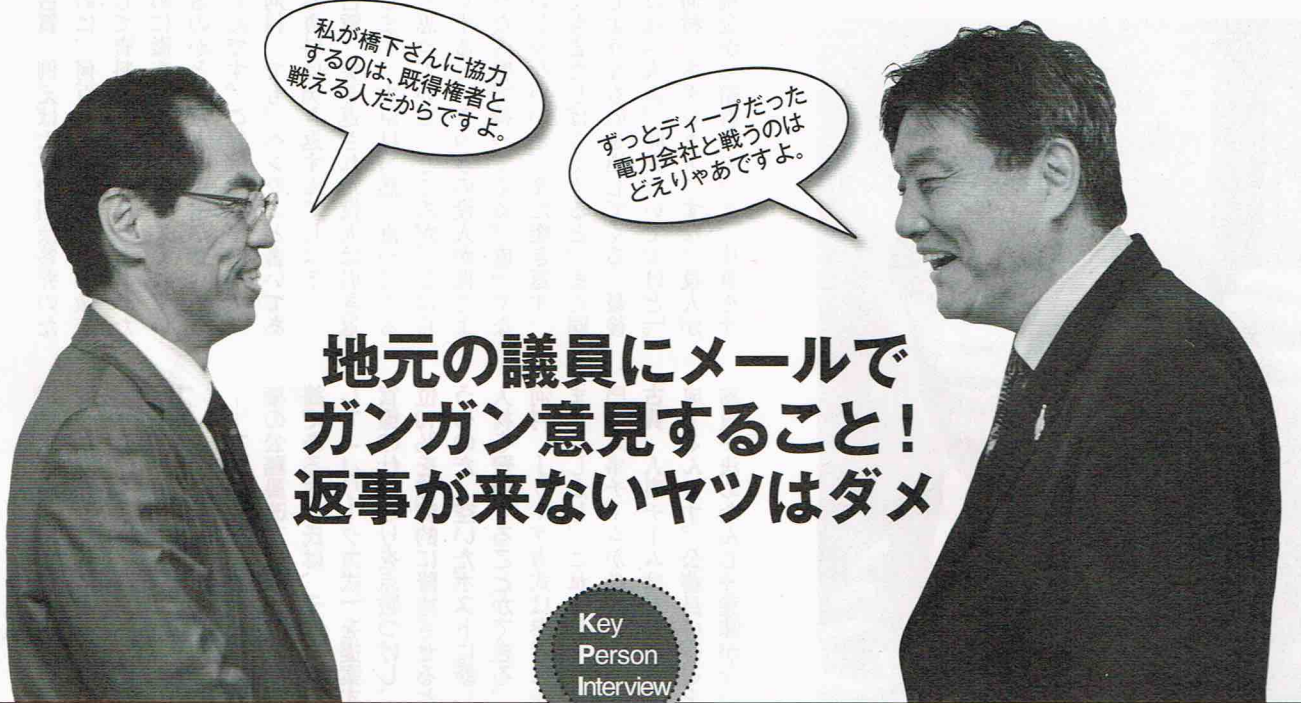
河村 行政のプロっていうとナンですけども、古賀さんから誉められてうれしいです（笑）。

既得権者と戦えるリーダーが必要だ

——8%、数年後に10%程度と発表されている消費増税。財政難だから仕方ないという「増税やむなし論」に正当性はあるのか。増税すれば財政難は解決するのか。

古賀 国民が物わかり良すぎますね。日本人ってちょっとマゾというか、みんな我慢しようっていうと一致団結しちゃう。

河村 まあ、あれだけテレビでキヤスターが二言目には、財政難、借金漬けと言うから、国民も洗脳されてるんです。記者クラブの皆



地元の議員にメールでガンガン意見すること！ 返事が来ないヤツはダメ

Key
Person
Interview
Special

さんも、財務省のレクチャーをそのまま垂れ流すので困ります。

古賀 財務省の役人は入省した時から増税することは考えています。パプロフの犬みたいに「増税」って聞くとよだれが出ちゃう。

でも、彼らに消費税を何%にしたから財政がよくなるんですか、とたずねても答えられないですよ。増税することが目的で、その先のことまで考えてないんだから。

河村 テレビに出てしゃべってるコメンテーターたちの経済学的無知がイカンわね。ギリシャと日本の国債の区別もつかんようなね。

今はとにかく庶民がお金を借りられるようにすること。ただ減税しても、そのまま懐に戻ってまた銀行に行ってしまうから、私は設備投資減税がええと思います。

古賀 私は借金を返す力、「闘う成長戦略」が必要だと思います。まずデフレ脱却。次に日本が稼げる自由なフィールドをつくること。日本の成長戦略に挙がっているのは医療、農業、電力の3分野です。

そのためにいろんな既得権者と戦わなくちゃならない。政治家はもちろん、官僚だって本来、戦わな

いといけない。医師会、農協、電力会社の連合会である電事連。この3つが今の日本のネックです。

河村 電力会社と戦うのはどえりやあですよ。これまでディープな関係だったから。

古賀 私が大阪の橋下市長に協力しているのは、橋下さんは戦える人だと思うから。いつでも辞める覚悟があるからです。

河村 橋下さんは家業にしてないから。行政を食い扶持にするような人を選んじゃいかんのです。

古賀 結局、最後は選ぶのは国民ですからね。投票に行くだけではなく、選挙以外の時が大事だと思います。今はツイッターやメールを使って、タダで発信できるんだから、ガンガン議員に発信するべきですよ。自分の地元の国会議員に「あなた原発再稼働に反対ですか賛成ですか？」とか。返事が来ないような議員はダメです。

河村 これに個人献金がついてくれば民主主義が根づきます。アメリカでは当たり前をやっています。

古賀 私は、一言添えて献金することを勧めます。「私は子育て中の主婦です。放射能のない社会にしてください」で1000円。これでいいんです。だいたい議員のホームページに個人献金の窓口が書いてありますよ。

河村 いい仕事をしている議員には献金が集まり、してない議員には集まらない。ダメ議員も淘汰されていく仕組みができますよ。

古賀 ヘンな報道をしているメディアにも、ツイッターでガンガン意見を送るといいですね。

——ふたりがともに強調したのは、主権者の国民がもつと意見を発信すべきというメッセージだった。私たちはすでにその手段を持っている。清き一票ではもつ足りない。